

## 安全データシート

ページ: 1/12

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 10. 07. 2025

製品: Kumulus DF Fungicide / クムラス 原体

バージョン: 8.1

(30035209/SDS\_CPA\_JP/JA)

印刷日: 15.10.2025

### 1. 化学品及び会社情報

**品名:**

Kumulus DF Fungicide

クムラス 原体

用途: 農薬製品, 殺菌剤

供給者の会社情報、住所及び電話番号:

BASF ジャパン株式会社

東京都中央区日本橋室町3丁目4番4号

0V0L 日本橋ビル 3階

電話番号: +81-3-5290-3000

Eメールアドレス: Japan-SDS-Info@basf.com

緊急連絡先:

電話番号: 03-6634-2245

+49 180 2273-112 (International emergency number)

### 2. 危険有害性の要約

**【化学品のGHS分類】:**

本製品は、GHS分類基準に該当しない。

**【GHSラベル要素】:**

注意書き:

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 10. 07. 2025

製品: Kumulus DF Fungicide / クムラス 原体

バージョン: 8.1

(30035209/SDS\_CPA\_JP/JA)

印刷日: 15.10.2025

P101 医学的な助言が必要なときには、製品容器やラベルを持っていくこと。  
P102 子供の手の届かないところに置くこと。  
P103 使用前にラベルをよく読むこと。

本製品は、GHS基準により有害性警告表示を必要としない。

GHS分類に関係しない又はGHSで扱われない他の危険有害性:  
12章のPBT（難分解性、生物蓄積性、毒性を有する物質）とvPvB（難分解性と生物蓄積性が極めて高い物質）の評価結果を参照。

この項に、有効な情報の記載がある場合、それは、GHS分類の結果ではなく、物質もしくは混合物の総合的な危険性に寄与する可能性があるGHS分類以外の危険性に関するものである。

### 3. 組成及び成分情報

#### 化学特性

化学物質・混合物の区別: 混合物

農薬製品, 殺菌剤, 顆粒水和剤

#### GHS分類に寄与する成分

硫黄

含有量 (W/W): 80 %  
CAS番号: 7704-34-9

皮膚腐食性／刺激性: 区分 2

リグニンスルホン酸ナトリウム

含有量 (W/W): < 20 %  
CAS番号: 8061-51-6  
化審法: (8)-209  
労働安全衛生法: (8)-209

### 4. 応急措置

[応急措置をする者の保護に必要な注意事項]:  
汚れた衣服は取り替える。

[吸入した場合]:  
安静にし、新鮮な空気の場所に移動させること。

[皮膚に付着した場合]:  
石鹸と水で完全に洗い流すこと。

[眼に入った場合]:  
直ちにまぶたを開き流水で15分以上洗い流した後、眼科医の診察を受ける。

[飲み込んだ場合]:

口をすすぎ、そして200–300mlの水を飲む。

[医師に対する特別な注意事項]:

症状: (他の) 症状や影響については現時点で知られていない。、 情報、すなわち症状および影響に関する追加情報は、2章で利用可能なGHSラベルのフレーズ及び11章で利用可能な毒性評価に含まれる。

処置: 症状に応じて処置 (洗浄・機能回復) を講じる。

---

## 5. 火災時の措置

[適切な消火剤]:

粉末, 泡, 噴霧水

[使ってはならない消火剤]:

二酸化炭素

[火災時の特有の危険有害性]:

一酸化炭素, 二酸化炭素, 硫黄酸化物

火災の場合、前述の物質／物質グループが放出される可能性がある。

[消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置]:

自給式呼吸器および耐薬品性保護衣を着用すること。

[追加情報]:

火災および/または爆発の場合に、ヒュームを吸入しないこと。火に暴露された容器は噴霧水で冷却した状態に保つこと。汚染された消火用水を別途回収すること。下水または廃水処理施設に流さないこと。汚染された消火廃水は法令に従って適切に処分する。

---

## 6. 漏出時の措置

[人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置]:

粉塵を発生させない。保護具を着用する。皮膚、眼、衣服への接触を避ける。

[環境に対する注意事項]:

排水溝等に流出させない。土壌中に放出しないこと。

[封じ込め及び浄化の方法及び機材]:

少量の場合: 粉塵結合剤で回収し、廃棄すること。

大量の場合: 掃き集めるかすくい取る。

粉塵を発生させないこと。法令に従って吸着剤を廃棄すること。廃棄物を適切な容器に集めること。容器は、ラベルの貼付および密封が可能な容器とする。水および洗剤を用いて、汚染された床および物質を完全に浄化すること。環境法令を遵守すること。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

[取扱い]

適切に保管し取り扱えば、特別な対策は必要なし。作業場の換気を十分に行う。使用時には飲食または喫煙をしないこと。休憩前とシフトの終わりに手や顔を洗うこと。

安全取扱注意事項:

粉塵を発生させない。粉塵は空気と混合して爆発性混合物を形成する可能性がある。静電気防止対策をとる。発火源を近づけない。消火器常備のこと。

[保管]

食品、動物飼料から隔離する。

保管条件に関する追加情報: 熱から離して保管すること。湿気を避ける。直射日光を避ける。

保管安定性:

保管期間: 60 月

次の温度以上にならないように保護すること: 40 ° C

もし、物質/製品を指示温度以上に長期間保管すると製品特性が変化することがある。

## 8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度

物質固有の職業曝露限界値は知られていない。

【保護具】[呼吸用保護具]:

呼吸保護具の着用は不要。

[手の保護具]:

長時間にわたる直接接触でも問題ない素材でできた耐薬品性保護手袋 (EN ISO 374-1) (保護指針6に準ずることが望ましい。EN ISO 374-1によると、透過時間は480分以上であること): ニトリルゴム (0.4 mm)、クロロプレンゴム (0.5 mm)、ブチルゴム (0.7 mm) など。

[眼の保護具]:

サイドシールド付き安全眼鏡 (フレームゴーグル) (例 EN 166)

## [皮膚及び身体の保護具]:

作業および予想暴露量に基づいて、保護具を選択すること。前掛け、保護靴、耐薬品性保護衣等（飛散の場合は、EN 14605に従い、粉塵の場合は、EN ISO 13982に従う。）。

## [一般的な安全及び衛生対策]:

最終消費者の手に渡る農薬を取り扱う際には、使用説明書の保護具に関する記述を適用すること。上下一体型作業衣の着用が望ましい。食物、飲料および動物用飼料から離して保管すること。作業服は、他の物と分けて保管すること。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態: 固体  
色: 灰褐色～褐色  
臭い: 微かな特有臭, 硫黄のような臭い  
臭いのしきい値: 吸入による健康障害の可能性のために決められていない。

pH: 約 7 - 9 (pH計)  
(CIPAC標準水D, 1 % (m), 20 ° C)

融点: 約 112 - 116 ° C

沸点: この製品は、不揮発性固体である。

引火点: 該当しない、製品は固体である。

蒸発率: 適用せず

可燃性 (固体/ガス): 可燃性低い。  
爆発下限界: 約 25 g/m<sup>3</sup> (VDI 2263)  
爆発上限界:

この製品に関する当社の経験と組成に関する知識の結果、この製品が適切に、また意図された用途に使用される限り、どのような危険性も考えられない。

自然発火温度: 該当しない、製品は固体である。

熱分解: 165 ° C , 50 kJ/kg (DSC (OECD 113))  
(開始温度)

265 ° C , 30 kJ/kg (DSC (OECD 113))  
(開始温度) 国連輸送規則クラス4.1  
に従い、自己分解性物質ではない。

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 10. 07. 2025

製品: Kumulus DF Fungicide / クムラス 原体

バージョン: 8.1

(30035209/SDS\_CPA\_JP/JA)

印刷日: 15.10.2025

自己発火性:	温度: 246 ° C	(測定方法: EU指令 92/69/EEC, A. 16)
自己発熱性:	低融点のために、試験していない。	
爆発危険有害事項:	爆発性なし。	
火災を引き起こす性質:	火災伝播性はない。	
蒸気圧:	製品は未試験である。	
密度:	約 1.88 g/cm <sup>3</sup> (20 ° C)	
嵩密度:	870 – 953 kg/m <sup>3</sup>	
相対ガス密度（空気）:	適用せず	
水に対する溶解性:	分散可能	
n - オクタノール/水分配係数（log Pow）:	混合物には適用されない	
粘度:	該当しない、製品は固体である。	
動粘性率:	該当しない、製品は固体である。	

## 10. 安定性及び反応性

[避けるべき条件]:

製品安全データシートの第7項の取り扱い及び保管上の注意を参照すること。

熱分解: 165 ° C, 50 kJ/kg (DSC (OECD 113))  
(開始温度)

熱分解: 265 ° C, 30 kJ/kg (DSC (OECD 113))  
(開始温度) 国連輸送規則クラス4.1に従い、自己分解性物質ではない。

[混触危険物質]:

強塩基, 強酸, 強酸化剤

[危険有害な分解生成物]:

指示通りの貯蔵と取扱い条件下では有害な反応は起こさない。

[危険分解物]:

通常の取扱い条件下で危険分解物なし。

**化学安定性:**

製品は取扱説明書に従って貯蔵すれば安定である。

**反応性:**

指示通りの貯蔵と取扱い条件下では有害な反応は起こさない。

## 11. 有害性情報

### ばく露経路

#### 急性経口毒性

実験または計算によるデータ:

LD50 (半数致死量) ラット (経口): > 2,200 mg/kg (OECDテストガイドライン401)

死亡なし

#### 急性吸入毒性

LC50 (半数致死濃度) ラット (吸入による): > 5.4 mg/l 4 h (OECDテストガイドライン403)

#### 急性皮膚毒性

LD50 (半数致死量) ラット (経皮): > 2,000 mg/kg (OECDテストガイドライン402)

死亡なし

#### 急性毒性の評価

単回の経口摂取であれば、実質上毒性はなし。単回の皮膚付着であれば、実質上毒性はなし。吸入による毒性は実質上なし。

#### 症状

(他の)症状や影響については現時点で知られていない。情報、すなわち症状および影響に関する追加情報は、2章で利用可能なGHSラベルのフレーズ及び11章で利用可能な毒性評価に含まれる。

### 刺激性

刺激性作用の評価:

眼刺激性なし。皮膚刺激性なし。

実験または計算によるデータ:

皮膚腐食性/刺激性 ウサギ: 刺激性なし (OECDテストガイドライン404)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 ウサギ: 刺激性なし (OECDテストガイドライン405)

### 呼吸器感作性又は皮膚感作性

感作性の評価:

皮膚感作の可能性に関する証拠はない。

実験または計算によるデータ:

Buehler法 モルモット: 感作性なし

## 生殖細胞変異原性

### 変異原性の評価:

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。変異原性試験では遺伝毒性の可能性は認められなかった。

## 発がん性

### 発がん性の評価:

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。各種の動物実験の結果は、発癌効果の兆候を示さなかった。

## 生殖毒性

### 生殖毒性の評価:

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。動物実験の結果から、生殖能力低下は認められなかった。

## 発生毒性

### 催奇形性の評価:

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。動物実験において、母体毒性を示さない濃度では生殖能力の低下は認められなかった。

## 特定標的臓器毒性（単回ばく露）

利用できる情報に基づく、単回ばく露後に予測される特定標的臓器毒性はない。

注意: 本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

## 特定標的臓器毒性（反復ばく露）

### 反復投与毒性の評価:

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。動物への反復投与試験の後、物質特有の臓器毒性は、観察されなかった。

## 誤えん有害性

予測される吸入危険性はない。

## その他該当する毒性情報

誤用により、健康を損なうおそれがある。

---

## 12. 環境影響情報

### 生態毒性



水生生物に対する毒性の評価:

水生生物に対して急性の有害性はほとんどないと考えられる。

魚類に対する毒性:

LC50 (半数致死濃度) (96 h) > 100 mg/l, ニジマス (学名: *Oncorhynchus mykiss*)

水生無脊椎動物:

EC50 (48 h) > 1,000 mg/l, オオミジンコ (学名: *Daphnia magna*)

水生植物:

EC50 (72 h) 290 mg/l, *Ankistrodesmus bibraianus* (OECDテストガイドライン 201)

微生物/活性汚泥への影響:

EC50 (18 h) > 2,000 mg/l, プチダ菌 (学名: *Pseudomonas putida*) (止水式)

## 移動性

環境区分間の輸送評価:

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報: 硫黄

環境区分間の輸送評価:

水面から大気中に揮発しない。

土壌の固相には吸着しないと考えられる。

試験は、科学的に正当化されていない。

## 残留性・分解性

生分解性及び除去率の評価 (水中環境):

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報: 硫黄

生分解性及び除去率の評価 (水中環境):

無機物質に関して適合しない。

## 生体蓄積性

生体蓄積性の可能性評価:

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報: 硫黄

生体蓄積性:

生体蓄積性はないと考えられる。本品の安定性と水に対する不溶性のため、生物への悪影響は考えにくい。

## [追加情報]

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 10. 07. 2025

製品: Kumulus DF Fungicide / クムラス 原体

バージョン: 8.1

(30035209/SDS\_CPA\_JP/JA)

印刷日: 15.10.2025

その他の環境毒性情報:

前処理なしに河川等に流してはならない。

### 13. 廃棄上の注意

地方自治体の規則に従って、適切な焼却施設に依頼する。

[汚染された容器]:

使用済みの容器は出来る限り空にしてから製品と同様の方法で廃棄すること。

### 14. 輸送上の注意

#### 国際陸上輸送:

輸送規則では危険有害性物質に分類されていない

国連番号もしくはID番号 非該当

品名（国連輸送名）: 非該当

国連分類（輸送における危

険有害性クラス）:

容器等級: 非該当

環境有害性: 非該当

使用者への特別注意事項 知見なし

#### 海上輸送

IMDG

輸送規則では危険有害性物質に分類されていない

国連番号もしくはID番号: 非該当

品名（国連輸送名）: 非該当

国連分類（輸送における

危険有害性クラス）:

容器等級: 非該当

環境有害性: 非該当

海洋汚染物質: 非該当

使用者への特別注意事項 知見なし

#### Sea transport

IMDG

Not classified as a dangerous good under transport regulations

UN number or ID number: Not applicable

UN proper shipping name: Not applicable

Transport hazard class(es): Not applicable

Packing group: Not applicable

Environmental hazards: Not applicable  
Marine pollutant: no

Special precautions for user None known

#### 航空輸送

IATA/ICAO

輸送規則では危険有害性物質に分類されていない

国連番号もしくはID番号: 非該当

品名（国連輸送名）: 非該当

#### Air transport

IATA/ICAO

Not classified as a dangerous good under transport regulations

UN number or ID number: Not applicable

UN proper shipping Not applicable

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 10. 07. 2025

製品: Kumulus DF Fungicide / クムラス 原体

バージョン: 8.1

(30035209/SDS\_CPA\_JP/JA)

印刷日: 15.10.2025

国連分類（輸送における危険有害性クラス）:	非該当	name: Transport hazard class(es):	Not applicable
容器等級:	非該当	Packing group:	Not applicable
環境有害性:	非該当	Environmental hazards:	Not applicable
使用者への特別注意事項	知見なし	Special precautions for user	None known

### IMO機器によるバルクの海上輸送

### Maritime transport in bulk according to IMO instruments

海上のバルク輸送は目的としない。

Maritime transport in bulk is not intended.

指針番号: 133

国内輸送規制はSDSの15章を参照のこと。

## 15. 適用法令

消防法: 第2類, 硫黄含有物, 第1種可燃性固体

硫黄  
労働安全衛生法  
通知対象物硫黄  
労働安全衛生法  
表示対象物

### その他の規則

もしも、このSDSの他の章に記載されていない法的情報がある場合には、この章に記載されます。

## 16. その他の情報

中毒の緊急問合せ先: 公益財団法人 日本中毒情報センター; 072-727-2499 (一般市民向け受信相談 (情報料無料) (大阪)), 072-726-9923 (医療機関専用有料電話 (1件につき2,000円) (大阪)), 029-852-9999 (一般市民向け受信相談 (情報料無料) (つくば)), 029-851-9999 (医療機関専用有料電話 (1件につき2,000円) (つくば))

【JIS Z 7252/7253: 2019準拠】 本SDSに記載されていない必要項目は、情報が無いことを示す。

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 10. 07. 2025

製品: Kumulus DF Fungicide / クムラス 原体

バージョン: 8.1

(30035209/SDS\_CPA\_JP/JA)

印刷日: 15.10.2025

本SDSにおいて労働安全衛生法の通知対象物質の濃度が幅表示の場合は、営業秘密である場合を含みます。

左余白の縦線は前バージョンからの改訂部分を示す。

本安全データシートに含まれるデータは、当社の最新の知識及び経験に基づいて製品を安全性基準の観点からのみ説明するものであり、製品の特性（製品規格）を説明するものではありません。また、当該製品が特定の目的に適した性能・特性を有しているか否かを判断するためのものでもありません。本製品の使用者は自己の責任において製品に関わる特許等の所有権を尊重し現行の法律及び規則を遵守して下さい。